

特集

見直そう防災対策

■問い合わせ先：総務課人事行政班（内線 271）

平成 25 年台風 18 号の大雨の影響で岩木川が増水



水位が下がった後の河川敷を清掃



岩木川増水によって冠水したりんご園

近年発生した町の災害

鶴田町は災害の発生が少ない町です。しかし、近年では平成25年の台風18号に伴う大雨で岩木川が増水、堤防の漏水、堤防からの越水があり、当町始まって以来の避難勧告が発令されました。

この大雨の影響で、菖蒲川、野木、木筒、強巻、大巻、相原、鷹ノ尾地区に避難勧告が発令され、対象世帯814世帯、対象人数2754人、避難者は780人に及びました。



漏水被害にあった住宅

町内において、19件の家屋床下浸水、堤防漏水地区3地区（鶴田、菖蒲川、木筒）河川敷のりんご園66ヘクタール（被災農家164戸）が冠水する被害が発生しました。幸いにも人命に関わる被害はありませんでした。

さまざまな災害の中で、風水害は気象情報をもとに予測することができます。住民の一人ひとりが「自分の命は自分で守る」自助の意識を持ちましょう。

防災気象情報を知るには

□防災行政無線

災害時の地域情報・被害情報をいち早く正確に伝達。停電時にも対処できるように、非常電源を装備しています。

□町からの「つるりんほっとメール」

町からの緊急情報や気象情報（特別警報、警報、注意報）、災害情報などを配信します。

□テレビのdボタンを利用

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンのdボタンを押すことで気象情報や災害に関する情報が配信されています

□気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

□青森地方気象台

<https://www.jma-net.go.jp/aomori/>

□青森県防災ホームページ

<http://www.bousai.pref.aomori.jp/index.html>



つるりん
ほっとメール

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

ハザードマップを確認

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。町ホームページで確認できます。また、役場総務課でも配布しております。

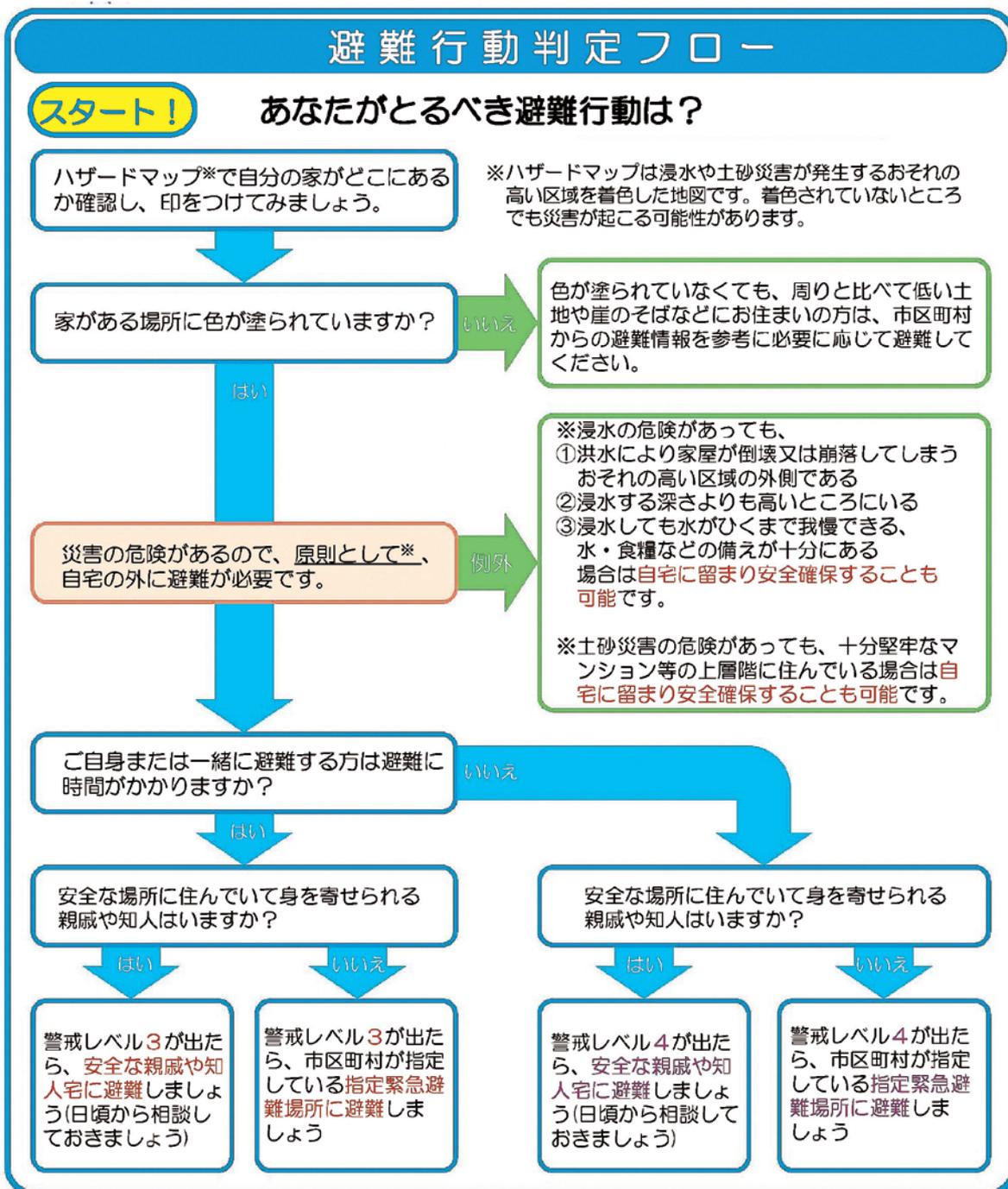
町公式ホームページ：トップページ→防災情報→洪水ハザードマップ・ため池ハザードマップ



避難行動判定フローを確認

ハザードマップとあわせて確認することにより、地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を判断できるようにしたものです。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、平時より自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



▲出展：内閣府防災ホームページ「令和元年台風第19号等による避難に関するワーキンググループ」
<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/index.html>

新型コロナウイルス感染症を考慮した 災害対応のポイント

避難とは「難」を「避」けること

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

風水害時における事前の避難

台風や豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。洪水ハザードマップで自宅での安全確保が可能か事前に確認しておき、防災気象情報を確認し災害がおきる前に避難所に避難しましょう。

知人宅への避難の検討

避難先は指定避難所だけではありません。避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

避難の前に検温の実施

避難する前に検温を行い、発熱などの症状がある場合は避難所の受付で「発熱をしている」と伝えましょう。

避難所の衛生環境の確保

町の備蓄品（マスク・消毒液・体温計）も限りがあります。避難所に避難する際は、日用品や食料品等と共に自分の必要なものはできるだけ持参してください。

避難する際に持っていったほうが良いもの

ウェットティッシュ、マスク、タオル、てぬぐい（マスクの代わりに）、体温計

避難所では十分な換気、スペースの確保

避難所内については、十分な換気に努めるとともに、人との距離を2m以上確保し、避難者が十分なスペースを確保できるよう留意します。

避難所の設備を強化

町では、「三密」（密閉、密集、密接）防止対策としてパーティションや衛生環境の保持を目的として消毒液やマスク等の衛生用品を購入し、近年頻発、激甚化する自然災害時における避難所運営に備えます。

①段ボールベッド

- ・工具やテープを使用せず、約5分で簡単に組み立てられ、耐荷重200kgの丈夫な構造。
- ・衛生面に配慮し、「院内感染対策のための指針～日本医師会」に則り、ハウスダストの影響が少ない高さ30cmに設定されています。



①

②パーティション

- ・仕切りがあるためプライバシーを保護し、飛沫の飛散を防ぐことで避難所内での感染拡大を抑えることができます。
- ・少人数で短時間で多くを設置できます。



②

③災害用トイレおよびトイレ用テント

- ・災害時、電気や上下水道のライフラインが被害を受け、水が使用できないとき活用。



③

鶴田町指定避難所一覧

近くの避難所と退避ルートを確認しましょう。所在地などにより、災害の種類や状況次第では避難所とならないものもあります。

避難所が過密状態になることを避けるため、可能な範囲で親戚や知人の家への避難も検討してください。

避難所	災害対応	
	洪水	地震
共栄文化センター	—	○
妙堂崎担い手センター	○	○
廻堰文化センター	○	○
田の尻文化センター	—	○
旧水元中央小学校	○	○
旧富士見小学校	—	○
尾原文化センター	—	○
前中野集落農事集会所	—	○
西中野文化センター	—	○
木筒文化センター	—	○
間山文化センター	○	○
野木ふれあいセンター	—	○
鶴寿町営住宅集会所	—	○
大巻ふれあいセンター	—	○
強巻文化センター	—	○
亀田・新田子ふれあいセンター	—	○
鶴田小学校	○	○
鶴田中学校	○	○
鶴田町立柔剣道場	—	○
鶴田町公民館	○	○
鶴田町体育センター	—	○
鶴田町武徳館	—	○
鶴田町保健福祉センター 「鶴遊館」	—	○
鶴田町農村環境改善センター 「豊明館」	○	○
駅東町営住宅集会所	—	○
みどり町集会所	—	○
旧菖蒲川小学校	—	○
あやめふれあいセンター	—	○
鶴泊ふれあいセンター	—	○
大性ふれあいセンター	—	○
旧胡桃館小学校	○	○
境・胡桃館ふれあいセンター	—	○
山道文化センター	—	○
中野文化センター	—	○
旧梅沢小学校	—	○
横泡ふれあいセンター	—	○
松倉文化センター	—	○
沖ふれあいセンター	—	○
瀬良沢ふれあいセンター	—	○
鶴田高校	○	○

災害の「備え」チェックリスト

非常用持ち出し袋

避難の際に持ち出すもの

避難の際に両手が使えるリュックサックがベスト

- 水
- 食品
【ご飯(アルファ米)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意】
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- レインウェア
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯(手動充電式が便利)
- 携帯ラジオ(手動充電式が便利)
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品
【ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬】
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート
- 感染症対策のため準備 -
- マスク
- 手指消毒用アルコール
- 石けん・ハンドソープ
- ウェットティッシュ
- 体温計
- 一緒に持ち出そう！ -
- 貴重品
【通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカード】

備蓄品

お家に備えておくもの！

- 食料や水(最低3日分!) ×家族分
※保存期間の長いものを多めに買って
おき、消費したら補充する「ローリングストック法」で、常に食料の備蓄を!
- 生活用品
例) ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど